

令和元年9月10日

平成31年度前期「授業公開」実施状況報告

FD委員会付 授業公開・授業評価実施部会

1 実施結果

(1) 実施期間 令和元年7月1日(月)～7月19日(金)

・実施要項(平成29年11月1日施行)に沿って実施

	平成31年度前期 (2019年度前期)	平成30年度後期 (2018年度後期)	備考(対比)
実施期間	7/1(月)～7/19(金)	11/26(月)～12/14(金)	
各学部等への実践教員選定依頼、報告期限(当初)	依頼:6/6(木) 期限:6/14(金)	依頼:11/1(木) 期限:11/9(金)	
参観教員申込期限(当初)	6/26(水)	11/19(月)	

(2)「授業公開」実施授業、及び参観教員数 7頁参照

	平成31年度前期 (2019年度前期)	平成30年度後期 (2018年度後期)	備考
公開授業科目数	美術・院 6 音楽・院 3 全学 1	美術・院 7 音楽・院 9 全学 2	
参観した教員数の割合 ※参観者数は実人数 (2回以上参観した教員を1人と数える)	35.7%(25/70) 美術 48.4%(15/31) 音楽 17.9%(5/28) 全学 50.0%(4/8) 研究所 33.3%(1/3)	63.4%(45/71) 美術 64.5%(20/31) 音楽 65.5%(19/29) 全学 62.5%(5/8) 研究所 33.3%(1/3)	教授、准教授、講師を対象

(3)「授業公開」レポート、及び参観レポートについて 8頁参照

2 総括

本年度より「授業公開」を前期にも実施した。実施期間は前年度後期と同様、約3週間としたが、公開授業数は前年度より8科目少ない10科目であった。1科目以上参観した教員数は、本学教員70人中25人で、全体に対する参加率は35.7%となり、前年度後期より大幅に参加率が下がる結果となった。以上の結果について授業公開・授業評価実施部会で検証したところ、以下のような要因が指摘された。

(1) 公開授業数の減少について：「授業公開」実施要項の3(2)には、実践教員の数は総教員数の「3分の1程度」と記載されているが、これを各学部やセンターが年間を通しての参加率と理解したことによって、学期ごとの実践教員数が減った可能性がある。

(2) 参観率の減少について：前期の授業公開が初めてであったことに加え、教員の多くはすでに過密なスケジュールを抱えており、1、2カ月の告知では予定の調整が難しい場合がある。

「授業公開」においては、公開授業科目の拡大並びに教員の参観率向上などが課題であるとする。今後の改善案について、部会では以下の意見や提案があったことを報告する。

### 3 課題と改善案

#### (1) 「授業公開」時期と回数について

- ・前期日程期間の「授業公開」結果も踏まえ、実施回数の拡大が適当か注視する必要がある。
- ・授業公開は年1回開催とすると同時に、実施期間を長めに確保すると参加しやすくなるのではないかと。また、2回目は教育能力向上のための研究会（教授法などについて外部講師を招聘して特別授業を開催するなど）を開催してはどうかという意見があった。

#### (2) 参観教員数の向上について

- ・前年度後期授業公開同様、準備期間の短さから、教授会などでの事前周知ができなかった。
- ・参観の義務化について、教授会等の場を活用して情報共有が図られる必要がある。
- ・より多くの教員が参加するためには、授業公開期間を学年歴に記載し、事前に教員に周知することも検討してはどうかという案があった。

#### (3) その他

- ・参観レポートについて、実施教員が事務局の取りまとめを待機し、公開レポートの作成に時間を要する点から、参観教員は参観レポートを事務局（FD委員会庶務）及び実施教員へ同時に提供する方式を提案する。
- ・公開レポートの提出について、事務局で集約できる体制ではなかったため、提出先を事務局（FD委員会庶務）にする。
- ・授業公開レポート及び参観レポート全て事務局にて取りまとめ後、各学部長、全学教育センター長及び実施部会へ報告する方式を提案する。
- ・レポートの文章が途切れないようにフォーマットを整える。

### 4 事業運営に係る特記事項

- ・教員からの参観申込は、当初6月26日の期限を設けたが、参観したい授業科目への直近（前々日）申込に対応した。
- ・授業公開の前日までに学科室に事前連絡して、円滑な実施に対応した。
- ・実施報告を整えるように各様式をExcelファイルで提供した。

以上